

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2027年7月20日まで（2020年11月20日設定）	
運用方針	<p>モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国のプレミアム企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、プレミアム企業とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。</p> <p>設定日から2022年6月までは、原則として、株式部分（マザーファンド受益証券をいいます。以下同じ。）への投資からドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。なお、株式部分以外は、原則として、残存期間が1年以内の日本国債や短期金融資産に投資します。2022年7月以降は株式部分を高位に組入れることを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券および日本国債を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合は、制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし） 2020-11（限定追加型）

第1期（決算日：2021年2月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）」は、去る2月24日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

- ◆設定来の運用で主眼を置いたポイント
 - ・設定来の先進国株式は、米国大統領選挙を巡る不透明感の後退や新型コロナウイルスのワクチン開発をめぐる報道などを背景に、上昇しました。このような環境下において、有力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を拡大し続ける「プレミアム企業」の魅力が高まると想定し、運用を行いました。
 - ・主な投資行動としては、3銘柄の全売却を行いました。米国を中心にメディア事業を展開するFOX CORP - CLASS Aなどを全売却しました。また、設定来における主な業種別の組入比率に関しては、特段の変更はありませんでした。
 - ・保有銘柄のうち加熱式たばこ「IQOS」の売上が堅調に推移したPHILIP MORRIS INTERNATIONALの上昇がプラスに寄与しました。
- ◆今後の見通し
 - ・2020年の先進国株式の上昇は主に株価収益率（予想P/E）の上昇によるものであり、対照的に1株当たり利益（予想EPS）はマイナス

でした。言い換えると、株価の上昇に寄与したのは企業の利益成長ではなく、各国の大規模な金融緩和や財政政策に対する市場参加者の期待を背景とした上昇といえます。運用チームは、足下のバリュエーションの高まりを受け、株式市場での価格下落リスクが高まっていると考えています。

- ◆運用方針
 - ・不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗があることが挙げられます。市場全体の予想EPSがマイナスとなった一方、当ファンドで保有する企業の予想EPSは前年対比で上昇しています。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。



モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドの資料を基に、三
菱UFJ国際投信が作成したもので
す。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドの資料を基に、三
菱UFJ国際投信が作成したもので
す。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドの資料を基に、三
菱UFJ国際投信が作成したもので
す。



モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドの資料を基に、三
菱UFJ国際投信が作成したもので
す。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドの資料を基に、三
菱UFJ国際投信が作成したもので
す。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドの資料を基に、三
菱UFJ国際投信が作成したもので
す。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株式 組入比率	株式 先物比率	債券 組入比率	債券 先物比率	純資 産額
		税 分	込 配	み 金					
(設定日)	円			円	%	%	%	%	百万円
2020年11月20日	10,000			—	—	—	—	—	8,763
1期(2021年2月24日)	10,013			0	0.1	15.0	—	50.4	12,235

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 額	価額		株式 組入比率	株式 先物比率	債券 組入比率	債券 先物比率
		騰 落	率				
(設定日)	円		%	%	%	%	%
2020年11月20日	10,000		—	—	—	—	—
11月末	9,996		△0.0	4.9	—	60.6	—
12月末	10,006		0.1	9.9	—	55.1	—
2021年1月末	10,005		0.1	14.8	—	50.4	—
(期 末)							
2021年2月24日	10,013		0.1	15.0	—	50.4	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

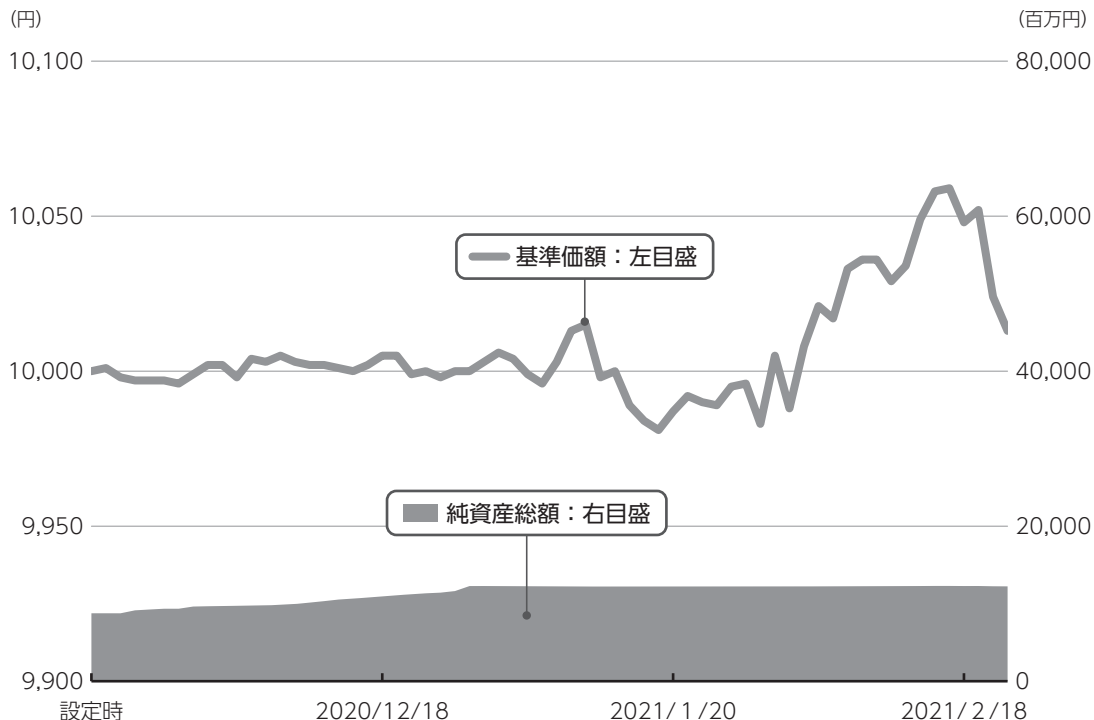
(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期：2020年11月20日～2021年2月24日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第1期末	10,013円
既払分配金	0円
騰落率	0.1%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ0.1%の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などを背景に先進国株式市場が上昇したことや、PHILIP MORRIS INTERNATIONAL（米国）やMICROSOFT CORP（米国）の株価が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

第1期：2020年11月20日～2021年2月24日

投資環境について

▶ 株式市況

先進国株式市況は上昇しました。

設定時から2020年12月にかけては、米国大統領選挙の結果をめぐる不透明感の後退や、新型コロナウイルスのワクチン開発・接種の進展などを受け、上昇しました。

その後は、米国のバイデン新大統領による追加経済対策への期待などを背景に上昇しました。

セクター別では、エネルギーや金融などが上昇した一方、公益事業や生活必需品が下落しました。

▶ 為替市況

米ドル、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

米ドルは、米長期金利の上昇などを背景に対円で上昇しました。また、新型コロナウイルスのワクチン開発・接種の進展などを背景に投資家心理が改善したことなどから、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）

株式部分については、設定日から2022年6月までドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行い、その後は高位に組入れることを基本とします。

当期は、定期的に一定金額をモルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券に投資し、組入を増やしました。

また、残存期間が1年以内の日本国債や

短期金融資産に投資しました。

実質組入外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

主な売却銘柄

FOX CORP - CLASS A（米国）：より成長性の高い銘柄に投資するため、全株売却しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第1期
	2020年11月20日～2021年2月24日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	12

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 受益証券へ、ドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。

株式部分以外は、残存期間が1年以内の日本国債や短期金融資産に投資します。実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

▶モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

2020年の先進国株式の上昇は主に予想PERの上昇によるものであり、対照的に予想EPSはマイナスでした。言い換えると、株価の上昇に寄与したのは企業の利益成長ではなく、各国の大規模な金融緩和や財政政策に対する市場参加者の期待を背景とした上昇といえます。運用チームは、足下のバリュエーションの高まりを受け、株式市場での価格下落リスクが高まっていると考えています。

不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗力があることが挙げられます。市場全体の予想EPSがマイナスとなった一方、当ファンドで保有する企業の予想EPSは前年対比で上昇しています。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

2020年11月20日～2021年2月24日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	24	0.240	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(14)	(0.138)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(9)	(0.095)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.007)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	0	0.000	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(0)	(0.000)	
(c)有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.001)	
(d)その他費用	0	0.001	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.000)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	24	0.242	

期中の平均基準価額は、10,007円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

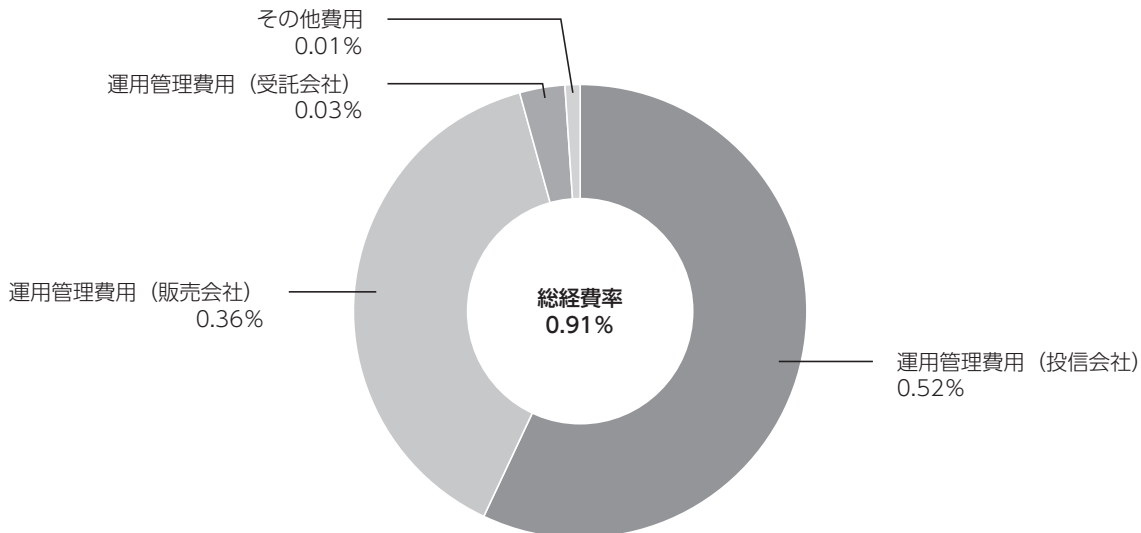
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.91%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年11月20日～2021年2月24日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 6,765,129	千円 600,144

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 488,739	千円 1,840,159	千口 4,738	千円 18,000

○株式売買比率

(2020年11月20日～2021年2月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	20,198,534千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	156,774,202千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.12

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年11月20日～2021年2月24日)

利害関係人との取引状況

<ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	公社債	百万円 6,765	百万円 5,503	% 81.3	百万円 600	百万円 -

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

＜モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド＞

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2021年2月24日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	6,160,000 (6,160,000)	6,163,025 (6,163,025)	50.4 (50.4)	— (—)	— (—)	— (—)	50.4 (50.4)
合 計	6,160,000 (6,160,000)	6,163,025 (6,163,025)	50.4 (50.4)	— (—)	— (—)	— (—)	50.4 (50.4)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
	%	千円	千円		
国債証券					
第937回国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,741	2021/9/21	
第950回国庫短期証券	—	3,700,000	3,700,810	2021/5/10	
第952回国庫短期証券	—	760,000	760,731	2021/11/22	
第960回国庫短期証券	—	700,000	700,743	2021/12/20	
合 計		6,160,000	6,163,025		

親投資信託残高

銘 柄	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	484,000	1,868,048

○投資信託財産の構成

(2021年2月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 6,163,025	% 50.3
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	1,868,048	15.2
コール・ローン等、その他	4,231,859	34.5
投資信託財産総額	12,262,932	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（157,955,459千円）の投資信託財産総額（158,460,393千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=105.41円	1 ユーロ=128.09円	1 イギリスポンド=148.92円	1 スイスフラン=116.40円
1 スウェーデンクローネ=12.73円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年2月24日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,262,932,431
コール・ローン等	4,231,858,008
公社債(評価額)	6,163,025,820
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(評価額)	1,868,048,603
(B) 負債	27,501,546
未払信託報酬	27,391,114
未払利息	7,536
その他未払費用	102,896
(C) 純資産総額(A-B)	12,235,430,885
元本	12,219,646,278
次期繰越損益金	15,784,607
(D) 受益権総口数	12,219,646,278口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,013円

<注記事項>

- ①期首元本額 8,763,180,529円
 期中追加設定元本額 3,523,501,534円
 期中一部解約元本額 67,035,785円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0013円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年11月20日～ 2021年2月24日
費用控除後の配当等収益額	778,771円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	14,880,239円
収益調整金額	185,809円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	15,844,819円
1万口当たり収益分配対象額	12円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ③「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

20億円以下の部分に対して	年1万分の80
20億円超40億円以下の部分に対して	年1万分の75
40億円超80億円以下の部分に対して	年1万分の70
80億円超の部分に対して	年1万分の65

- *三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況（2020年11月20日～2021年2月24日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 738,610
支払利息	△ 738,610
(B) 有価証券売買損益	43,891,630
売買益	45,903,384
売買損	△ 2,011,754
(C) 信託報酬等	△27,494,010
(D) 当期損益金(A+B+C)	15,659,010
(E) 追加信託差損益金	125,597
(配当等相当額)	(△ 68,424)
(売買損益相当額)	(194,021)
(F) 計(D+E)	15,784,607
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	15,784,607
追加信託差損益金	125,597
(配当等相当額)	(185,809)
(売買損益相当額)	(△ 60,212)
分配準備積立金	15,659,010

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

条項の参照（(変更前)前2項から(変更後)前3項）を変更するため、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2021年2月15日)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

《第18期》決算日2021年2月24日

[計算期間：2020年8月25日～2021年2月24日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、
2月24日に第18期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・信託財産の成長を目指して運用を行います。 ・運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		(参考指数) MSCI ワールド・インデックス (税引き後配当込み米ドル建て)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	期騰落率	期中騰落率	期騰落率	期中騰落率	期騰落率	期中騰落率			
14期(2019年2月25日)	円	%	円	%		%	%	%	百万円
14期(2019年2月25日)	30,100	1.9	110.78	0.0	18,769	△2.4	98.4	—	73,237
15期(2019年8月23日)	32,365	7.5	106.66	△3.7	19,398	3.3	97.3	—	103,294
16期(2020年2月25日)	36,362	12.3	110.91	4.0	21,368	10.2	98.1	—	149,018
17期(2020年8月24日)	37,118	2.1	105.80	△4.6	22,140	3.6	98.6	—	157,527
18期(2021年2月24日)	38,596	4.0	105.41	△0.4	25,974	17.3	98.2	—	157,768

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス (税引き後配当込み米ドル建て) (出所: MSCI) の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率	米ドル	騰 落 率		
(期 首) 2020年8月24日	37,118	—	105.80	—	22,140	—	98.6	—
8月末	37,977	2.3	105.36	△0.4	22,745	2.7	99.0	—
9月末	36,785	△0.9	105.80	0.0	21,880	△ 1.2	98.3	—
10月末	35,040	△5.6	104.60	△1.1	21,513	△ 2.8	97.0	—
11月末	36,960	△0.4	103.89	△1.8	24,166	9.2	97.8	—
12月末	38,250	3.0	103.50	△2.2	24,939	12.6	97.4	—
2021年1月末	38,215	3.0	104.48	△1.2	25,220	13.9	97.5	—
(期 末) 2021年2月24日	38,596	4.0	105.41	△0.4	25,974	17.3	98.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

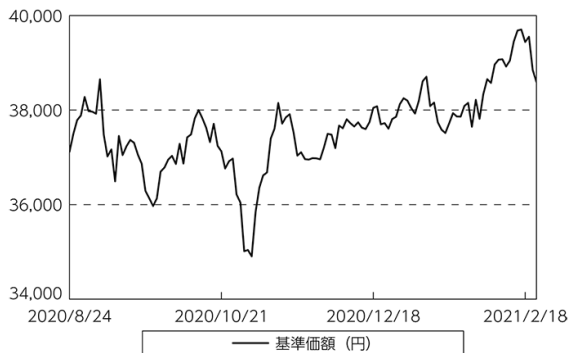
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ4.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

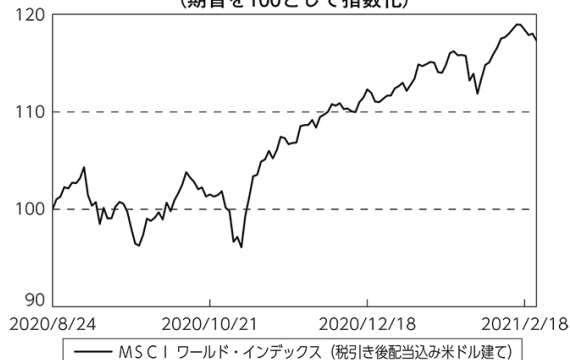
(上昇要因)

新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などを背景に先進国株式市場が上昇したことや、AUTOMATIC DATA PROCESSING (米国) や PHILIP MORRIS INTERNATIONAL (米国) の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

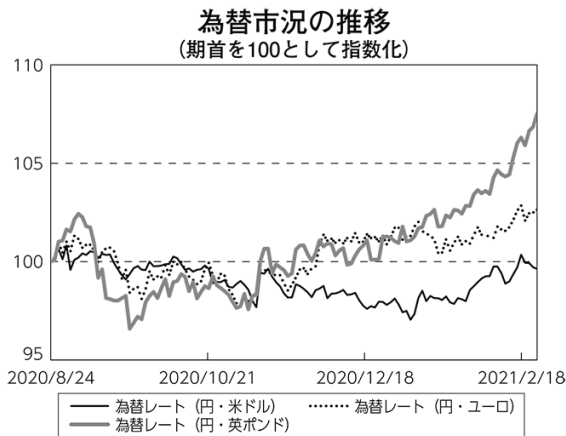
参考指数の推移

(期首を100として指数化)



◎株式市況

- ・先進国株式市況は上昇しました。
- ・期初から2020年10月にかけては、米国の追加景気刺激策が合意に至らなかったことや、欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大などを受けて下落しました。
- ・11月から12月にかけては、米国大統領選挙の結果をめぐる不透明感の後退や、新型コロナウイルスのワクチン開発・接種の進展などを受け、上昇しました。
- ・その後は、米国のバイデン新大統領による追加経済対策への期待などを背景に上昇しました。
- ・セクター別では、金融やエネルギーなどが上昇しました。



◎為替市況

- ・米ドルは対円で下落した一方、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。
- ・米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和の継続が長期化するとの見通しなどを背景に、米ドルは対円で下落した一方、新型コロナウイルスのワクチン開発・接種の進展などを背景に投資家心理が改善したことなどから、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎新規組入銘柄

- ・当期の新規組み入れ銘柄はありませんでした。

◎主な売却銘柄

- ・FOX CORP - CLASS A（米国）：より成長性の高い銘柄に投資するため、全株売却しました。

○今後の運用方針

- ・2020年の先進国株式の上昇は主に予想PERの上昇によるものであり、対照的に1株当たり利益（予想EPS）はマイナスでした。言い換えると、株価の上昇に寄与したのは企業の利益成長ではなく、各国の大規模な金融緩和や財政政策に対する市場参加者の期待を背景とした上昇といえます。運用チームは、足下のバリュエーションの高まりを受け、株式市場での価格下落リスクが高まっていると考えています。
- ・不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗力があることが挙げられます。市場全体の予想EPSがマイナスとなった一方、当ファンドで保有する企業の予想EPSは前年対比で上昇しています。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることが

でき、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2020年8月25日～2021年2月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 1 (1)	% 0.004 (0.004)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.006 (0.006)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	3 (3)	0.007 (0.007)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	6	0.017	
期中の平均基準価額は、37,587円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年8月25日～2021年2月24日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 6,023	千アメリカドル 86,034	百株 13,260	千アメリカドル 123,041
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	1,363	13,710	316	3,731
	フランス	850	14,726	276	7,471
	オランダ	283	936	661	2,160
	イギリス	141	268	641	1,297
	イギリス	1,441	千イギリスポンド 6,227	8,278	千イギリスポンド 32,014

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2020年8月25日～2021年2月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	33,041,433千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	153,354,875千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.21

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月25日～2021年2月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年2月24日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	5,600	5,401	65,253	6,878,397		ヘルスケア機器・サービス
AUTOMATIC DATA PROCESSING	3,395	3,573	61,489	6,481,625		ソフトウェア・サービス
ACCENTURE PLC-CL A	3,571	2,824	72,357	7,627,180		ソフトウェア・サービス
BAXTER INTERNATIONAL INC	7,495	8,145	63,650	6,709,374		ヘルスケア機器・サービス
BECTON DICKINSON AND CO	2,355	2,271	56,276	5,932,100		ヘルスケア機器・サービス
COCA-COLA CO/THE	5,644	5,444	27,518	2,900,733		食品・飲料・タバコ
DANAHER CORP	2,987	2,746	61,489	6,481,569		ヘルスケア機器・サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	490	297	9,006	949,342		各種金融
MOODY'S CORP	584	563	15,558	1,639,986		各種金融
PROCTER & GAMBLE CO/THE	5,296	5,318	67,815	7,148,474		家庭用品・パーソナル用品
ROPER TECHNOLOGIES INC	306	797	30,915	3,258,762		資本財
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1,221	1,177	54,043	5,696,696		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	2,693	2,836	38,776	4,087,390		ソフトウェア・サービス
NIKE INC -CL B	1,887	1,420	19,330	2,037,652		耐久消費財・アパレル
MICROSOFT CORP	6,075	5,903	137,711	14,516,184		ソフトウェア・サービス
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	2,259	3,703	41,264	4,349,644		各種金融
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	15,052	14,519	125,504	13,229,409		食品・飲料・タバコ
VISA INC-CLASS A SHARES	4,016	3,874	82,173	8,661,867		ソフトウェア・サービス
ZOETIS INC	1,441	1,252	19,986	2,106,734		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FOX CORP - CLASS A	4,440	—	—	—		メディア・娯楽
FOX CORP - CLASS B	2,493	—	—	—		メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額	79,309	72,072	1,050,119	110,693,126	
	銘柄 数 < 比 率 >	21	19	—	<70.2%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SAP SE	4,386	5,433	55,907	7,161,155		ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	4,386	5,433	55,907	7,161,155	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<4.5%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	411	415	22,386	2,867,445		耐久消費財・アパレル
L'OREAL	1,138	999	31,168	3,992,325		家庭用品・パーソナル用品
PERNOD RICARD SA	1,275	1,985	31,863	4,081,406		食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	2,826	3,400	85,417	10,941,177	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	<6.9%>	
(ユーロ…オランダ)						
DAVIDE CAMPARI-MILANO NV	7,320	7,061	6,791	869,898		食品・飲料・タバコ
HEINEKEN NV	3,359	3,240	27,709	3,549,334		食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	10,680	10,301	34,501	4,419,233	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<2.8%>	
(ユーロ…イギリス)						
RELX PLC	5,331	4,831	9,696	1,242,078		商業・専門サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	5,331	4,831	9,696	1,242,078	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.8%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	23,224	23,966	185,523	23,763,645	
	銘柄 数 < 比 率 >	7	7	—	<15.1%>	
(イギリス)			千イギリスポンド			
UNILEVER PLC	4,571	—	—	—		家庭用品・パーソナル用品

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(イギリス)	百株	百株	千イギリスポンド	千円		
RELX PLC	13,785	13,297	23,018	3,427,844	商業・専門サービス	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	13,816	13,539	80,829	12,037,164	家庭用品・パーソナル用品	
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	10,086	9,729	25,355	3,775,924	食品・飲料・タバコ	
EXPERIAN PLC	4,797	3,654	8,708	1,296,817	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	47,058	40,220	137,911	20,537,751	
	銘柄 数 < 比 率 >	5	4	—	<13.0%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	149,591	136,260	—	154,994,523	
	銘柄 数 < 比 率 >	33	30	—	<98.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2021年2月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 154,994,523	% 97.8
コール・ローン等、その他	3,465,870	2.2
投資信託財産総額	158,460,393	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（157,955,459千円）の投資信託財産総額（158,460,393千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=105.41円	1 ユーロ=128.09円	1 イギリスポンド=148.92円	1 スイスフラン=116.40円
1 スウェーデンクローネ=12.73円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年2月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	158,707,015,847
コール・ローン等	3,014,846,306
株式(評価額)	154,994,523,204
未収入金	649,867,125
未収配当金	47,779,212
(B) 負債	938,169,880
未払金	689,169,770
未払解約金	249,000,000
未払利息	110
(C) 純資産総額(A-B)	157,768,845,967
元本	40,876,707,646
次期繰越損益金	116,892,138,321
(D) 受益権総口数	40,876,707,646口
1万口当たり基準価額(C/D)	38,596円

<注記事項>

- ①期首元本額 42,440,247,273円
 期中追加設定元本額 3,102,401,588円
 期中一部解約元本額 4,665,941,215円
 また、1口当たり純資産額は、期末3,8596円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	23,165,358,072円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)	16,125,963,367円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	558,589,389円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	542,796,247円
ビルドアップ型 MS グローバル・プレミアム株式(為替ヘッジなし) 2020-11(限定追加型)	484,000,571円
合計	40,876,707,646円

[お知らせ]

当ファンドを投資対象とする追加型証券投資信託の新規設定(予定)に伴い記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。(2020年10月5日)

○損益の状況 (2020年8月25日~2021年2月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,117,627,809
受取配当金	1,117,568,297
受取利息	153,499
支払利息	△ 93,987
(B) 有価証券売買損益	5,450,004,538
売買益	13,189,409,819
売買損	△ 7,739,405,281
(C) 保管費用等	△ 10,955,996
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,556,676,351
(E) 前期繰越損益金	115,087,589,296
(F) 追加信託差損益金	8,418,844,889
(G) 解約差損益金	△ 13,170,972,215
(H) 計(D+E+F+G)	116,892,138,321
次期繰越損益金(H)	116,892,138,321

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。